

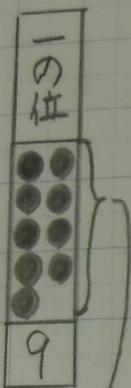
4年 算数

画像ノート 1~28

1億より大きい数を調べよう。

<今までの復習>

★1 位のマンションに、ぶた子さんがひっこしてきました。
ぶた子さんは9人家族です。

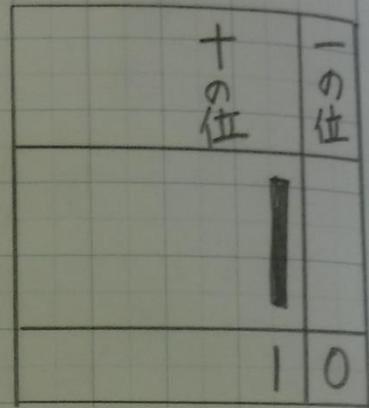


その後、ぶた子さんの家族が一人ふえました。



そうすると...

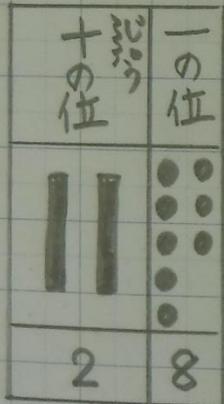
1年生で学習したことを覚えていたかな



位のマンションは、0~9までしか入れません。

10集まる^{左の}ととなり新しい位のマンションがたちます。

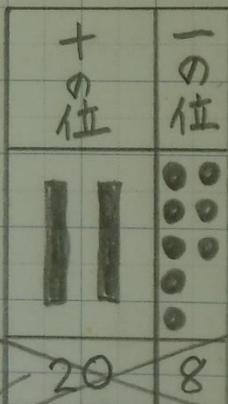
★2 ぶた子さんの家族は、どんどんふえて28人になりました。



書き方
読み方

じゅう

28は、に、はちと読むのではたか、数字の後ろにマンションの位の読み方をつけて(に)じゅうはち!



書き方

マンションの中にいくつあるかを書きます。

読み方

マンションの中の数字にマンションの位の読み方をつけて読みます。

これは0~9までの数字しか書けない。タイルが2本あるから2を書きます。

もし...20と書いたらタイルが20本あることになる!

★₃ ぶた子さんの家族がふえて... 3年生までにならった位のミッション

一	千	百	十	一	千	百	十	一
億	万	万	万	万				
1	0	0	0	0	0	0	0	0

↓マークのところから 位の名前を言ってみると。
一、十、百、千、一万、十万、百万、千万、一億と。

4つずつのかたまりで並んでいる。
かけざんの倍の教

★₄ 10が△個で1000... □が△個で♡

千	百	十	一
			1
		0	0
	1	0	0
1	0	0	0

調べ方
□の数の1の部分に指をおき。
♡の数のところまで、まっすぐ下におろす。
おろしたところから左がわ部分を読む。
10の100倍が1000 (10×100=1000)

★₅ 数を讀んだり書いたりする。

千	百	十	万	千	百	十	一
6	5	8	9	1	0	2	3

空位(0の位)に注意!
読む時は漢数字、小さい位から
4つずつ区切り、大きい位から読む。

万は最後に
つけるよ。

千を6個 百を5個 十を8個 一万を9個 千を1個 十を2個 一を3個
を合わせた数は...
六千五百八十九万四千二十三です。

P8~P11 国の前まで

1億より大きい数の読み方を知る。

P.8の4都道府県の人口を読む。(漢数字で書く。★5を参考に!)

山梨県 八十三(万)八千八百二十三

北海道 五百三十三(万)九千五百三十九

大阪府 ()

東京都 ()

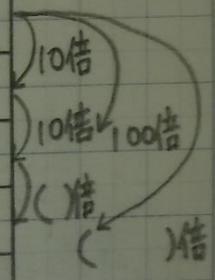
P9 ① 日本の人口を読む。(漢数字で書く。★3★5を参考に!)

日本 一()二千七百七十()七千二百五十九

P10 ② 世界の人口を読む。(★3を参考に!)

★4を参考に!

1億				1	0	0	0	0	0	0	0
10億			1	0	0	0	0	0	0	0	0
100億		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1000億	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	千億位	百億位	十億位	億位	千万位	百万位	十万位	千位	百位	十位	一位
			7	3	8	3	0	0	9	0	0



億 万 億

億も万と同じように、一、十、百、千の4つが繰り返し。

世界 七十三()八千三百()九千

P11

左から3番目のワ
右から4番目のワ

100万がワ個
1000がワ個

※ 位のマシの名
一・十・百...と
言ひばう

P.11

- ① 四千九百六十七(億)
- ② 七十七(億) 八千(万)
- ③ 二百四十九(億) 七千(万)

※ 右から(小さい位から)
4つずつ区切つて読む。

P.12

- ① 百一(兆) 四千五百七十(億) 九千三百五十七(万)
- ② 九(兆) 四千六百(億)

P12

- ① 二十五(億) / 五千九百二十九(万) / 五千五百
25 / 5929 / 5500

※ (兆)(億)(万)を見つけて
区切りをつけよう。

- ② 10 / 9646 / 0000 / 0000
兆 億 万 千百十

忘れなよう!

※ 読み方は億で終わっているけれど(万)の部分4けた
その下、千百十の4けたが0になるよ。

P13

- ① 3016 / 0800 / 5000

※ ●がない場所は0を書く。

②

一	千	百	十	一	千	百	十	一	千	百	十	一
兆	億	億	億	億	万	万	万	万				
3	0	0	0	4	0	0	0	5	0	0	0	0

※ 指定した
位に数字を
入れ、残りは
0を書く。

P.13

① 180億

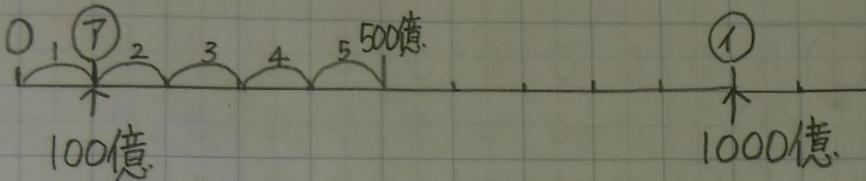
※ 1を180個集めると 180
それを使って1を1億に変えて考える。

② 10000倍

※ 1-トの4ページの下の表を見る。
1兆のところに指を置いて、1億の
ところをさわり、数字を読む。

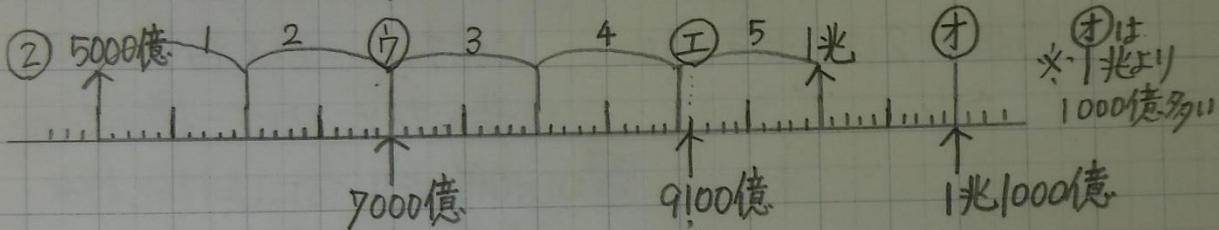
P.13

①



※ 0から500億まで目もりが5つ
500を5でわって100
だから1目もり100億

※ 1目もり100億と分かったので
100億の10目もり分(10倍)
 $100億 \times 10 = 1000億$



※ まず大きい目もりを考える。
5000億から1兆まで5目もり。
1兆から5000億を引くと5000億
5000億で5目もりだから
 $5000 \div 5 = 1000$
だから大きい目もりは1000億
⑦は5000億から2目もりめなので
6000億、7000億

※
①の目もりのつ前は9000億。
9000億から1兆までは
1兆引く9000億で1000億。
1000億の中に小さい目もりが10個
だから小さい目もりつは100億。
($1000 \div 10 = 100$)
①は9000億に100億をたす。

P.13の「ますりんつうしん」を読んでおこう。

P14

整数を10倍した数や $\frac{1}{10}$ にした数を求める。

10倍は $\times 10$ (10をかける) ということです。

$\frac{1}{10}$ にするは $\div 10$ (10でわる) ということです。

P.14 □

25億を10倍. $\frac{1}{10}$ にする.

10倍 ($\times 10$)	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25億	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
$\frac{1}{10}$ ($\div 10$)		2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	百	十	一	千	百	十	一	千	百	十	一	
	億	億	億	万	万	万	万					

25億の2は、十億の位。

10倍すると 2は百億のくらい

$\frac{1}{10}$ にすると 2は一億のくらい



10倍したり、 $\frac{1}{10}$ にしたりすると位が
1つづつけたか変わる。

〈考えてみよう!〉

2500を100倍. $\frac{1}{100}$ にしてみよう。

1000倍. $\frac{1}{1000}$ の時は
どうかな. 自分で考えてね。

100倍は... $10 \times 10 = 100$ だから

$\times 10 \times 10$ です。

$\frac{1}{100}$ にするは... $\div 10 \div 10$ です。

100倍	2500 $\times 10 \times 10$	2	5	0	0	0	0
	2500	2	5	0	0		
$\frac{1}{100}$	2500 $\div 10 \div 10$			2	5		

10倍で1けた. 次の10倍で
もう1けた. 7割2けた移動

$\div 10$ で1けた. 次の $\div 10$ で
もう1けた. 7割2けた移動



整数を10倍すると位は1けたずつ上がる。(1けた左に動く。)

整数を $\frac{1}{10}$ にすると位は1けたずつ下がる。(1けた右に動く。)

※ $\frac{1}{100}$ 倍 $\frac{1}{1000}$ 倍 $\frac{1}{100}$ $\frac{1}{1000}$ というように
 0が2: 0が3: 0が2: 0が3:

10倍、100倍、1000倍... は0の数だけ位が左に動く。

$\frac{1}{10}$ $\frac{1}{100}$ $\frac{1}{1000}$ にすると... は0の数だけ位が右に動く。

P14△をやってみよう。

① 80億 10 倍($\times 10$) 800億 $\frac{1}{10}$ ($\div 10$) 8億

※ 10倍は1けたずつ位が上がる。

② 5000億 10 倍($\times 10$) 5兆 $\frac{1}{10}$ ($\div 10$) 500億

$\frac{1}{10}$ は1けたずつ位が下がる。

③ 3兆 10 倍($\times 10$) 30兆 $\frac{1}{10}$ ($\div 10$) 3000億

おんすんすキル ⑤をやろう。

P.15

整数は、0~9までの数字を使うとどんな大きさでも表せる。

1-トの|ページ★|をも1度見よう。

位のマンションには、0~9までの数字しか入れられない。

たせかというし... 10が集まるととなり新しい位のマンションができるからです。

だから..... 新しい位のマンションをどんどん作っていけば、どんなに大きい整数でも作れる。

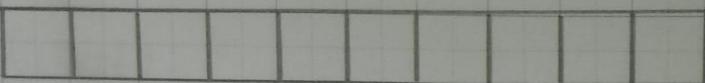
一、十、百、千の4つの区切りごとに新しい位の名前になる。

P.16のまじりん
つうしんを
読もう。

整数は、それぞれの位にその位の数が何個あるかで表す。
それぞれの位には、0~9までの数字しか入れないので
0~9までの数字を使うと、どんな大きさの整数でも表せる。

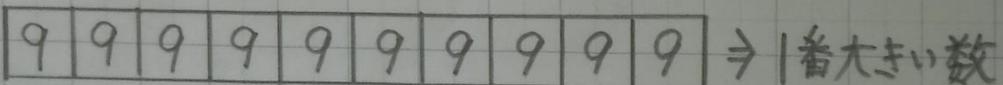
P.15 各

10けたの整数 ⇒ 位のマンションが10個



同じ数字を1回しか使えない!
そんな時は、どうする?
答え方は、同じやってみよう。

同じ数字を何回使ってもいい ⇒ 0~9で一番大きい数字は9



10番目に大きい数 ⇒ この数から1つずつ減らして、10番目を調べる。

1つずつ減らすから、一の位を変える

一の位だけを変えると、9. 8. 7. 6. 5. 4. 3. 2. 1. 0

だから答えは、9999999990

↑
10番目

1億より大きい数を調べよう

〈今までの復習2〉

かけ算

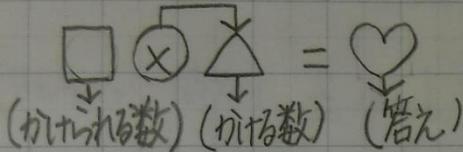
$$2 \times 3 = 6 \quad \text{○○} \quad \text{○○} \quad \text{○○}$$

1つのおさらには2個ずつのっている
そのおさらが3さら分

$$3 \times 2 = 6 \quad \text{○○○} \quad \text{○○○}$$

1つのおさらには3個ずつのっている
そのおさらが2さら分

2×3と3×2は答えは同じですが、式の意味はちがいます。



⊗の記号は△さんが持っています。
(+, -, ×, ÷ も後ろにいる数字が持っている。)

⊗を持っているのが△さんなので、かける数と覚えよう。

ひっ算

$$\begin{array}{r} 32 \\ \times 2 \\ \hline 64 \end{array}$$

$$32 \times 2 \Rightarrow (30 + 2) \times 2 = 30 \times 2 + 2 \times 2 \\ = 60 + 4 \\ = 64$$

$$\begin{array}{r} 14 \\ \times 23 \\ \hline 42 \\ 28 \\ \hline 322 \end{array}$$

$$14 \times 23 \Rightarrow 14 \times (20 + 3) = 14 \times 20 + 14 \times 3 \\ = 280 + 42 \\ = 322$$

$$\begin{array}{r} 260 \\ \times 45 \\ \hline 1300 \\ 1040 \\ \hline 11700 \end{array}$$

$$260 \times 45 \Rightarrow 260 \times (40 + 5) = 260 \times 40 + 260 \times 5 \\ = 10400 + 1300 \\ = 11700$$

26×10×4×10
↑ 26×4×100

P.16 ~ P.17

(3けた) × (3けた) のひっ算の仕方を理解する。
 かける数に0が入っている時、末尾に0がある数のかけ算のひっ算の仕方を理解する。

⑧ 計算の答え		名前は漢字で書けるように覚えよう!
かけ算	せき積	(EX $2 \times 3 = 6$ 6が積)
たし算	わ和	(EX $2 + 3 = 5$ 5が和)
引き算	さ差	(EX $5 - 2 = 3$ 3が差)
わり算	わい商 あお	(EX $5 \div 3 = 1 \dots 2$ 1が商 2があまり)

P.16 ① 365×148 をひっ算で計算する。

$$\begin{array}{r}
 365 \\
 \times 148 \\
 \hline
 2920 \\
 14600 \\
 36500 \\
 \hline
 \end{array}$$

- ... 365×8
- ... $365 \times 40 \rightarrow 365 \times 4 \times 10$ 0が1つ
- ... $365 \times 100 \rightarrow 365 \times 1 \times 100$ 0が2つ

×10だから
一の位に0以外の
答えが入ることはない

×100だから
一の位、十の位に0以外の
答えが入ることはない

数が3けたになっても 4けたになっても考え方は同じ。

P.17 ② (1) 796×407 (2) 5400×320 のひき算の仕方を工夫する。

(1)

$$\begin{array}{r}
 796 \\
 \times 407 \\
 \hline
 5572 \\
 000 \\
 3184 \\
 \hline
 323972
 \end{array}$$

$\dots 796 \times 7$
 $\dots 796 \times 0 = 0$
 $\dots 796 \times 400 \rightarrow 796 \times 4 \times 100$

※ $796 \times 0 = 0$ だから、たてにたし算しても答えは変わらない!

$$\begin{array}{r}
 796 \\
 \times 407 \\
 \hline
 5572 \\
 3184 \\
 \hline
 323972
 \end{array}$$

$\dots 796 \times 0$ のところは 書かない。
 $\dots 796 \times 4$ の 答えを書く位置に注意。

0が② = + ①に = ③に

(2) $5400 \times 320 \Rightarrow 54 \times 100 \times 32 \times 10 = 54 \times 32 \times 1000$
 こだけひき算する。

$$\begin{array}{r}
 54 \\
 \times 32 \\
 \hline
 108 \\
 162 \\
 \hline
 1728
 \end{array}$$

\Rightarrow こに $\times 1000$ をすると 1728000 が答え

P16 \triangle

$$\begin{array}{r}
 \textcircled{1} \quad 295 \\
 \times 317 \\
 \hline
 206^b 5^3 \\
 295 \\
 8^2 8^1 5 \\
 \hline
 9'3'5'15
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 \textcircled{2} \quad 384 \\
 \times 563 \\
 \hline
 11^2 5^1 2 \\
 23^5 0^2 4 \\
 19^4 2^2 0 \\
 \hline
 2'16'192
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 \textcircled{3} \quad 776 \\
 \times 892 \\
 \hline
 15^1 5^1 2 \\
 69^6 8^5 4 \\
 62^6 0^4 8 \\
 \hline
 69'2^2 192
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 \textcircled{4} \quad 104 \\
 \times 762 \\
 \hline
 208 \\
 62^2 4 \\
 72^2 8 \\
 \hline
 79'248
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 \textcircled{5} \quad 407 \\
 \times 935 \\
 \hline
 203^3 5 \\
 122^2 1 \\
 366^6 3 \\
 \hline
 38'0545
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 \textcircled{6} \quad 950 \\
 \times 413 \\
 \hline
 28^1 50 \\
 950 \\
 38^2 00 \\
 \hline
 39'2'350
 \end{array}$$

$$\left(\begin{array}{r}
 \textcircled{6} \quad 413 \\
 \times 950 \\
 \hline
 206^1 5 \\
 37^1 1^2 7 \\
 \hline
 39'2'350
 \end{array} \right)$$

P. 17 

$$\begin{array}{r}
 \textcircled{1} \quad 274 \\
 \times 608 \\
 \hline
 21^5 9^3 2 \\
 16^+ 4^2 4 \\
 \hline
 166592
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 \textcircled{2} \quad 208 \\
 \times 305 \\
 \hline
 104^+ 0 \\
 62^2 4 \\
 \hline
 63440
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 \textcircled{3} \quad 4800 \\
 \times \quad 70 \\
 \hline
 33^5 6000
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 \textcircled{4} \quad 3500 \\
 \times \quad 80 \\
 \hline
 28^4 0000
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 \textcircled{5} \quad 690 \\
 \times 6700 \\
 \hline
 48^6 3 \\
 41^5 4 \\
 \hline
 46^1 23000
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 \textcircled{6} \quad 1400 \\
 \times 250 \\
 \hline
 7^2 0 \\
 28 \\
 \hline
 3^1 50000
 \end{array}$$

またスキル⑦をやろう。

P.18 たしかめよう

基本スキル ⑧ をやろう

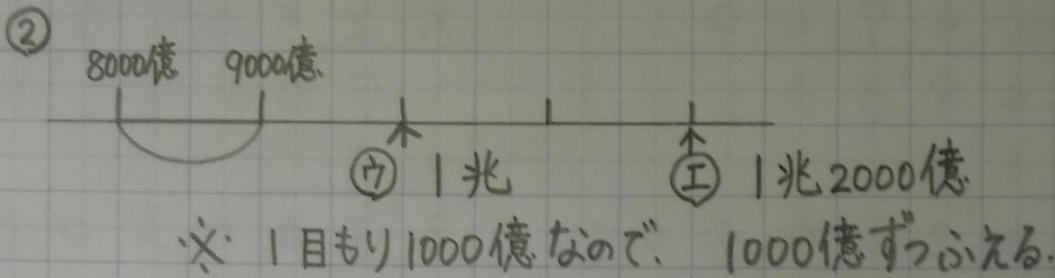
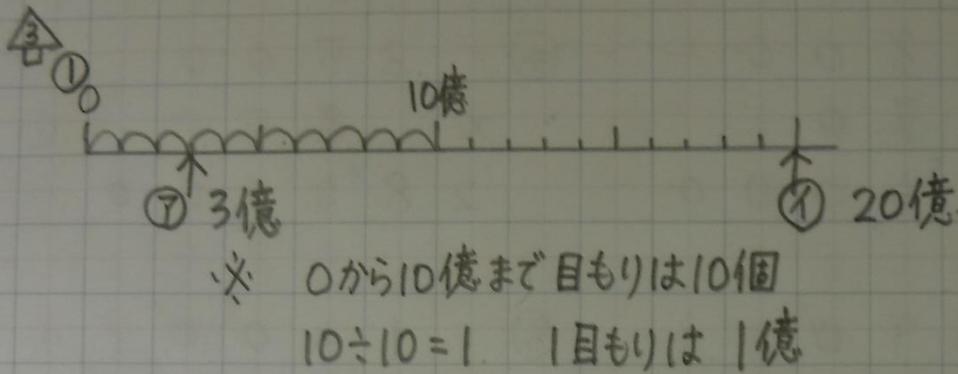
① 三億四百二十八万五千

※ 一の位から
4つずつ区切って読む

② 五兆二百四十億七千万

① 320億 ② 999999999999 ③ 10

※ 一の位の4ページ
確認
が1にん



① 4億 10倍 → 40億 ② 1300億 10倍 → 1兆3000億
 $\frac{1}{10} \rightarrow 4000万$ $\frac{1}{10} \rightarrow 130億$

※ 1-7ページを確認

4 8 1
 × 7 0 3

 1 4² 4 3
 3 3 6 7

 3 3 8 1 4 3

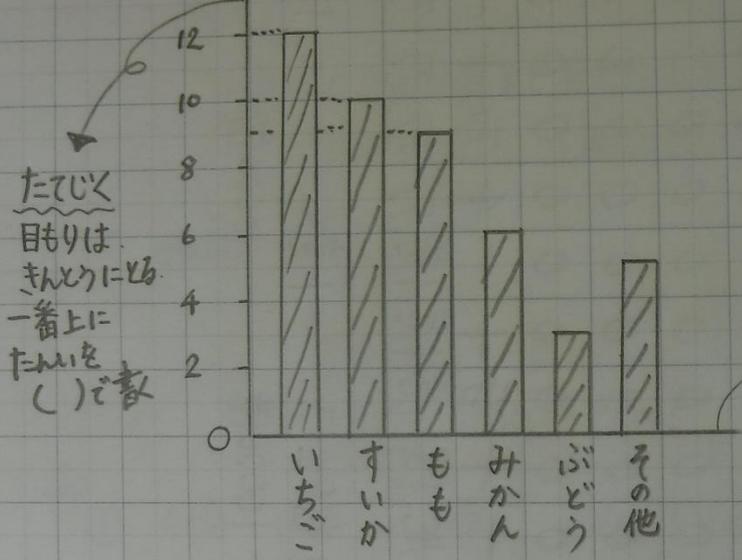
理由

→ 481 × 700なので 481 × 7 × 100で
 2けたずらして書かなくてはいいから

グラフや表を使って調べよう (今までの復習)

- 棒グラフ... ① 棒の長さによって、数や量の大小をくらべる時に使う。
- ② グラフの左側が一番大きい数になり、右側へ行くほど小さい数になる。
- ③ 一番右側に、その他をおく。

棒グラフ (人)



たてじく
目もりは
きんぐりにとら
一番上に
たてじく
()で表

すきなフルーツ調べ → 表題という

何を調べたのか分かる
ように、グラフには
表題を必ず書く

よこじく
調べたこうぐを
左から大きい順で並べる。
一番右側にその他をおく

たてじくのみもりに合わせて、それぞれのこうぐの人数を読む

いちご 12人、すいか 10人、もも 9人
みかん 6人、ぶどう 3人、その他 5人

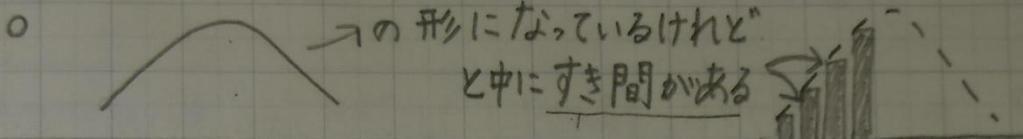
すきなフルーツ調べに参加した人は、全部で 45人
(12 + 10 + 9 + 6 + 3 + 5 = 45)

P.20 ~ P.23

折れ線グラフを知る.

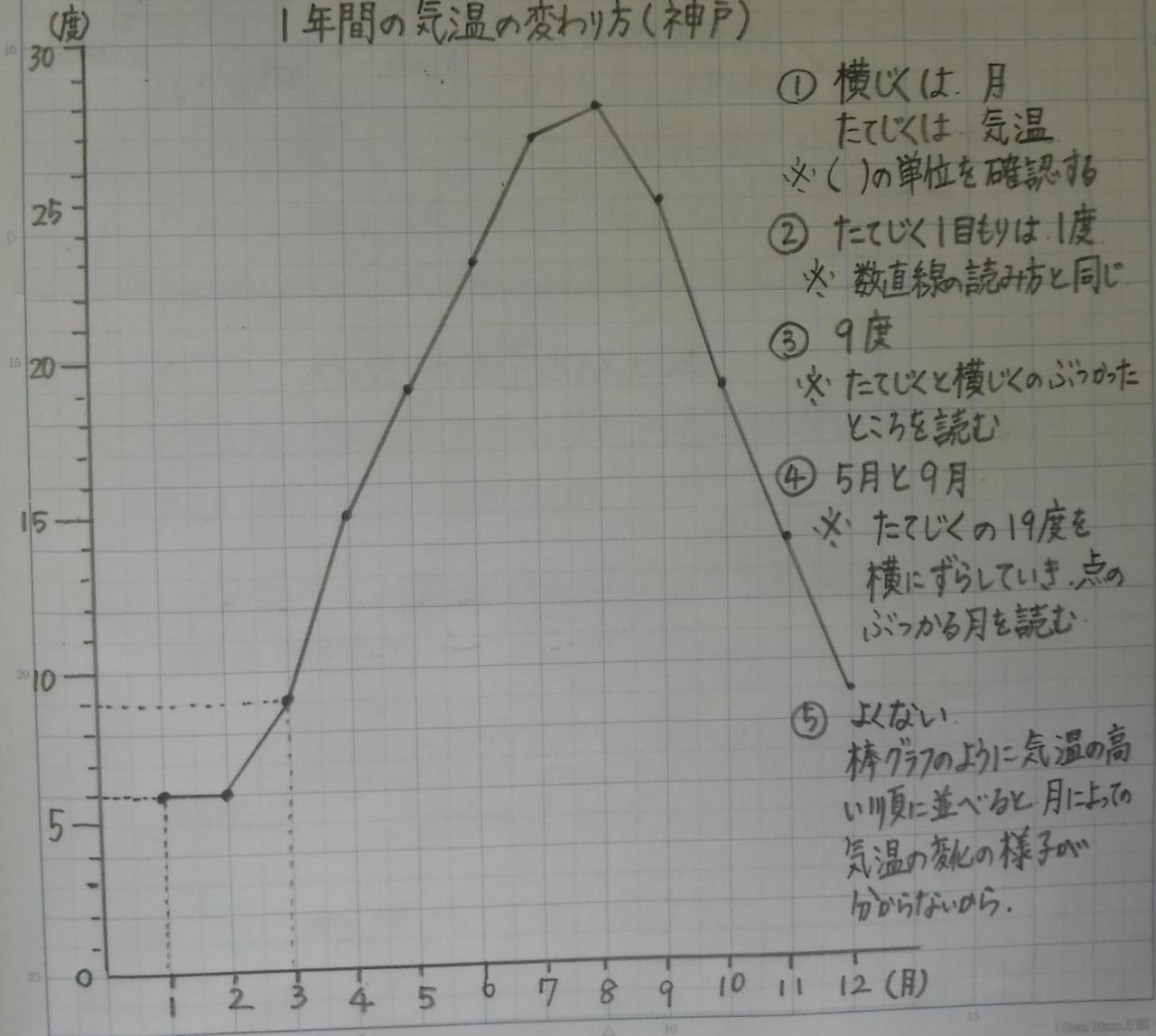
P.21 ① 神戸の気温の変わり方を表すには、どのようなグラフにしたら？

- P.21の1年間の気温の変わり方(神戸)は、棒グラフ。
1,2月が低くて、7,8月が高い。



② 変わっていくものの様子を表すには、折れ線グラフを使う。

1年間の気温の変わり方(神戸)



- ① 横は、月
たては、気温
※ ()の単位を確認する
- ② たては1目もりは1度
※ 数直線の読み方と同じ
- ③ 9度
※ たてと横のぶつめたところを読む
- ④ 5月と9月
※ たての19度を横にずらしていき、点のぶつかる月を読む
- ⑤ よくない。
棒グラフのように気温の高い夏に並べると月による気温の変化の様子が分からないから。

P23 ② 折れ線グラフの変わり方

こうた 2月から8月までは、気温が上がっています。

みさき 8月から12月までは、気温が下がっています。

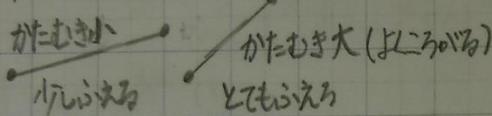
しほ 気温の上がり方がいちばん大きいのは3月から4月です。

りく 気温の下がり方がいちばん小さいのは8月から9月です。

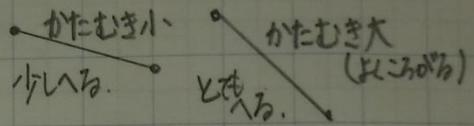
🐼 気温が変わらないのは11月から12月です。

🐼 折れ線グラフでは、線のかたむきに注目すると、変わり方がよく分かる。

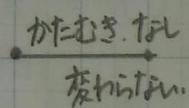
• 右に上がる → ふえる



• 右に下がる → へる



• まっすぐ → 変わらない



まねスキル9をやりましょう。

P.24 ~ P.27

折れ線グラフのかき方を知る。

R24③

折れ線グラフのかき方

- ① 横じく「月」をとる。同じ間かくで目もりをふる。(月)のように()に単位を入れて、一番最後に書く。
- ② たてじく「気温」をとる。一番高い気温が表せるように、同じ間かくで目もりをふる。(目もりのつけ方を考える。〰も使う。)(度)のように単位を()に入れて、一番上に書く。
↳ 1-ト 22ページ
- ③ たてじくと横じくがぶつかるところに、点を打ち、直線でつなぐ
- ④ 表題を書く。(表題を一番最初に書いてしまってもOK。) ↳ かならず定めておく。

※ 折れ線グラフは変化の様子を表すためのグラフなので、たてじくも横じくも、目もりを同じ間かくでとることが大事。

(たてじくと横じくと両方共 同じ間かくにする必要はない。
たてじくはたてじくで、横じくは横じくで同じ間かくにならなければよい。)

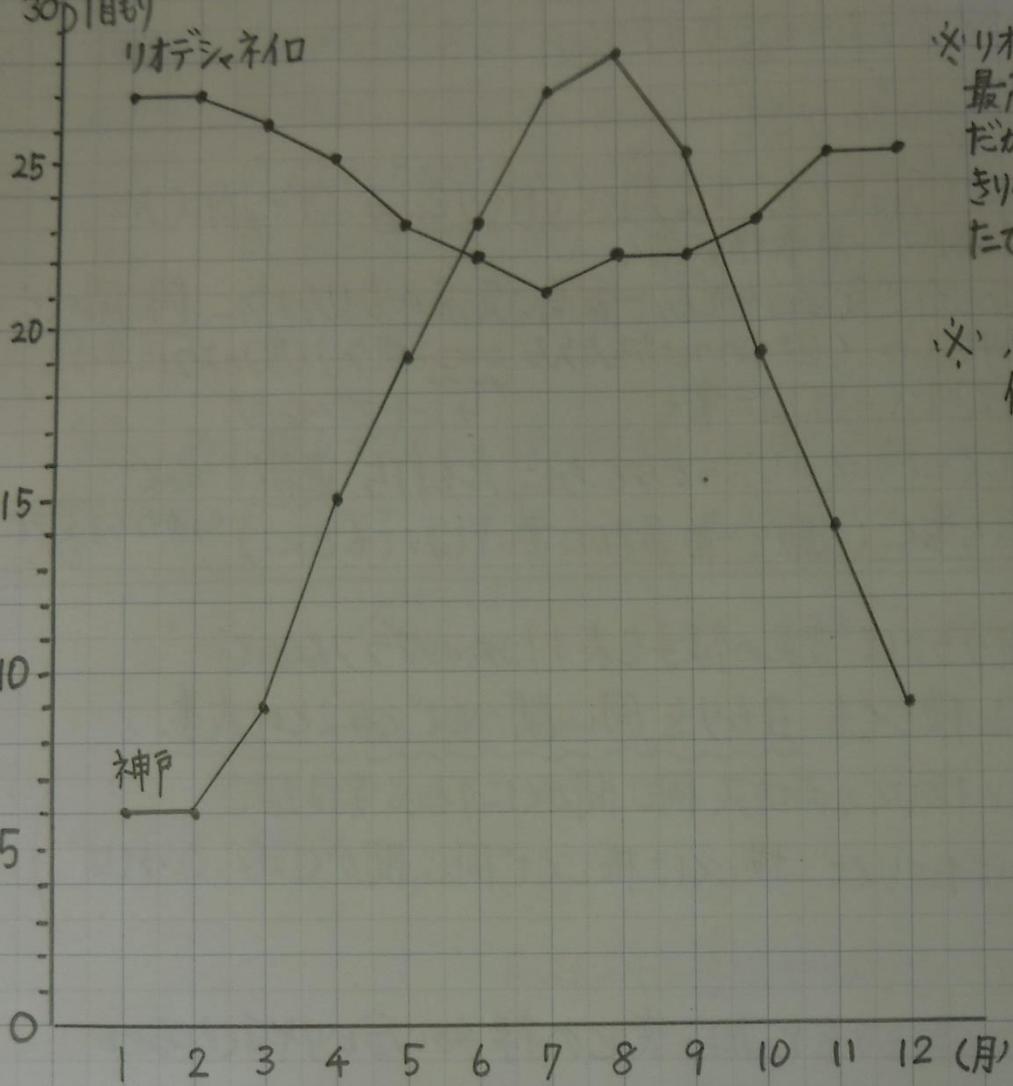
※ どのように目もりをとったら、変化の様子が分かりやすくなるのか、考え、目もりをとることが大切。

※ 一つのグラフに、何本かの折れ線グラフを重ねる時は、直線の色を変えると見やすい。

※ 〰 ^{しりく}省略の記号を使うと、変わり方の記録がより分かりやすくなる。
↳ 1-トの22ページ

P.24 Ⅱに折れ線グラフを書いてみよう。

1年間の気温の変わり方 (リオデジネイロ)(神戸)



※ リオデジネイロの最高気温は27℃だから、27℃より上いきりのふい30℃までたてじの目もりをとる。

※ 点と点は定規を使って線を引く。

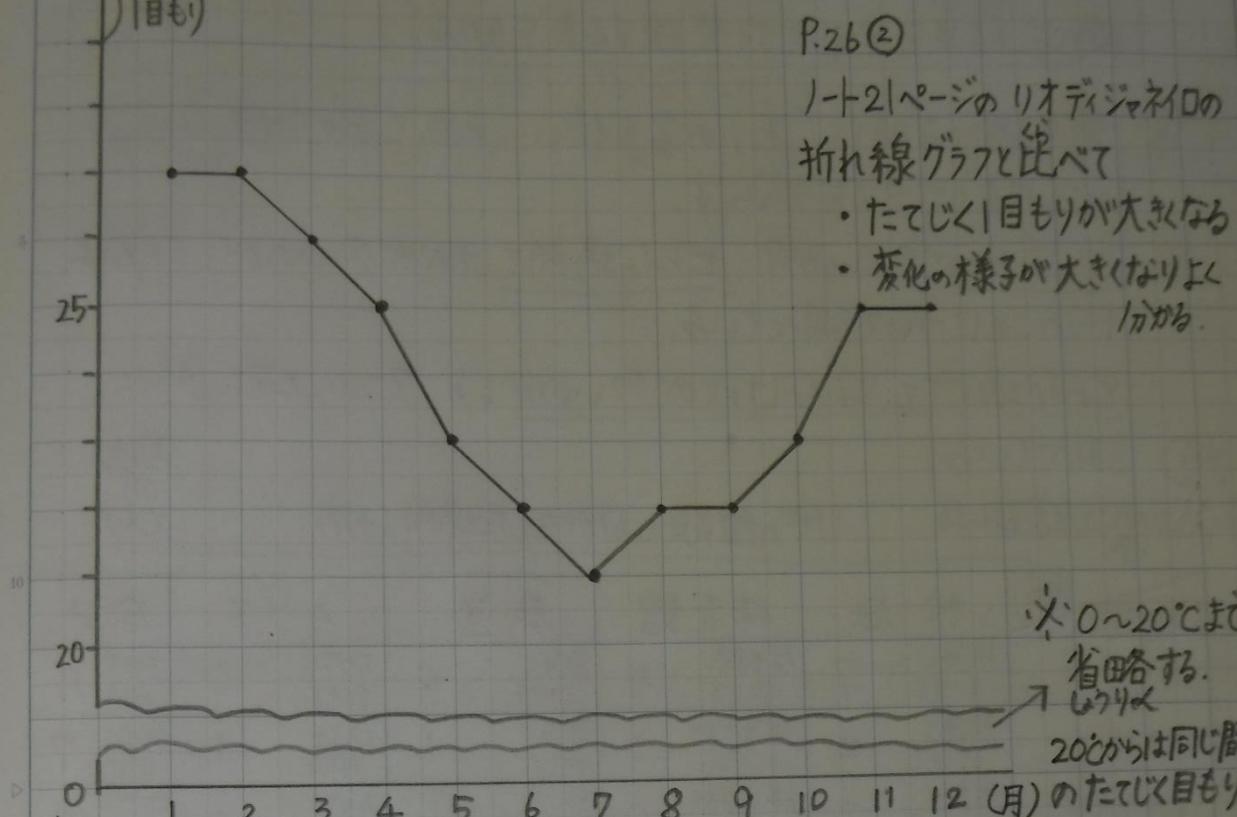
P.25 ① 気温が変わっていきふところがある。4月と5月の間の気温の下り方が一番大きい。 20℃以下にはならない。

P.25 ③ 6月 1度 → もっといいかき方はないかな？ 1+22ページ

P.25 ④ リオより神戸の方が気温が高いのは、6月～9月
 リオは神戸より気温の変化が小さい。
 リオと神戸で気温のちがいがいちばん小さいのは6月で1度。
 いちばん大きいのは1月と2月で21度。

2つのグラフを重ねると変化のちがいが分かりやすい。

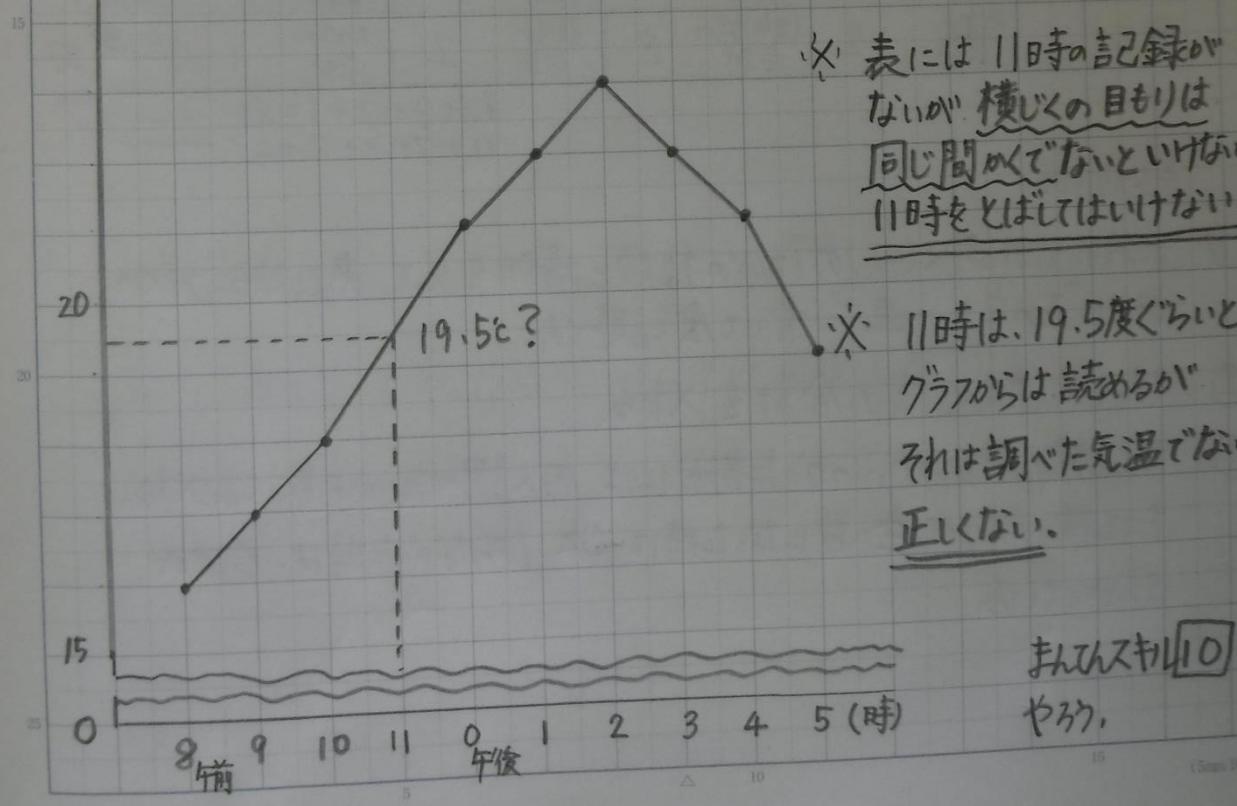
1年間の気温の変わり方 (リオデジャネイロ) P.26 ④



P.26 ②
1-12ページのリオデジャネイロの折れ線グラフと比べて

- たてじく1目もりが大きいなる
- 変化の様子が大きくなりよく分かる。

1日の気温の変わり方 (4月25日調べ) P.27 ⑤



P.28 ~ P.31

調べた結果を分かりやすく整理する表を知る。

※ 数を調べる時は、「正」の字を使い (五画で分かりやすい) チェックをしてミス減らす。

※ どんなけがが多いのか? どんな場所でけがが多いのか?などは、1つのことについて調べている。
どんな場所でどんなけがが多いのかは、2つのことを同時に

P.29① 調べている。

※ この2つを表題にね。 (けがの種類とけがをした場所 (4月))

単
位
(人)

けがの種類	校庭	体育館	教室	ろう下	合計
すりきず	校庭で すりきず 7	体育館で すりきず 4	教室で すりきず 0	ろう下で すりきず 0	すりきず 合計 11
打ぼく	校庭で 打ぼく 2	体育館で 打ぼく 3	教室で 打ぼく 1	ろう下で 打ぼく 1	打ぼく 合計 7
切りきず	校庭で 切りきず 2	体育館で 切りきず 0	教室で 切りきず 1	ろう下で 切りきず 0	切りきず 合計 3
ねんざ	校庭で ねんざ 1	体育館で ねんざ 1	教室で ねんざ 0	ろう下で ねんざ 0	ねんざ 合計 2
合計	校庭の 合計 12	体育館の 合計 8	教室の 合計 2	ろう下の 合計 1	全人数 23

$12 + 8 + 2 + 1 = 23$
 $11 + 7 + 3 + 2 = 23$

表を作る時.

- ① P.29のけが調べ(4月)のけがの種類と場所を見て、あてはまるごまの部分が「正」の字を一画ずつ書いて全て調べる。
- ② それぞれ、たてと横の合計を入れる。
- ③ たてと横の合計が、ぶつかった部分には、何人調べたのかを数えて記入する。たてと横の合計が、全人数になった時は、OK。ならなかった時は、どこかがまちがっている。

P 29のけが調べ(4月)を見て、2つの表に数を入れて完成させよう。

けがの種類とけがをした時間(4月)

けがの種類 \ 時間	休み時間	じ・業中	昼休み	放課後	合計
すりきず					
打ぼく					
切りきず					
ねんざ					
合計					23

表題

学年 \ けがの種類	すりきず	打ぼく	切りきず	ねんざ	合計
1					
2					
3					
4					
5					
6					
合計					23

「正」の字を書いてやってみよう。正の字は最後は数字にします。

P 30 ②

① 教科書の表に書こう。

先週	○	12	先週借りた人	} 先週だけ見る
	×	18	先週借りていない人	
今週	○	11	今週借りた人	} 今週だけ見る
	×	19	今週借りなかった人	

R31②)ートに「正」の字を書いて調べ。教科書の表に書こう。

先週	今週	人数	正の字	意味
○	○			先週も今週も借りた。
○	×			先週は借りて今週は借りない。
×	○			先週は借りない今週は借りた。
×	×			先週も今週も借りない。

} 先週も今週も
両方見てみる。

4年1組の本の利用のようす (人)

		今 週		合計
		借りた	借りない	
先週	借りた	○ 8	㊦	㊥
	借りない	㊩	㊧	△ 18
合計		□ 11	㊨	㊦

- ... 先週も今週も借りた。 □... 今週借りた人の合計
- ㊦... 先週は借りて今週は借りない ㊨... 今週借りていない人の合計
- ㊩... 先週は借りず今週借りた ㊧... 4年1組全員の人数
- ㊧... 先週も今週も借りない
- ㊥... 先週借りた人の合計
- △... 先週借りていない人の合計

🐼 2つの見方で分けて表に整理して表すと、知りたいことがより分かりやすくなる。

P.31 各

- ① 19人 ② 30人 ※ 指定されたところを指でさわり確認しよう。

まねんスキル ⑪ と ⑫ をやろう。

P.32 しかしてみよう

棒グラフと折れ線グラフを重ねて使ってみる。

棒グラフ 救急車で運ばれた人数を表す。

たてじく左側が棒グラフの目もり。

棒グラフと折れ線を重ねて使う時は、多い順には並べない。

折れ線グラフ 最高気温を表す。

たてじくの右側が折れ線グラフの目もり。

- ① 6日. 34.2度
(棒グラフ) (折れ線グラフ)

- ② ふえている. (折れ線グラフと棒グラフの両方を見る。)

- ③ 正しい。
気温が上がると人数がふえている。
気温が下がると人数が減っているから。

P33 たしかめよう

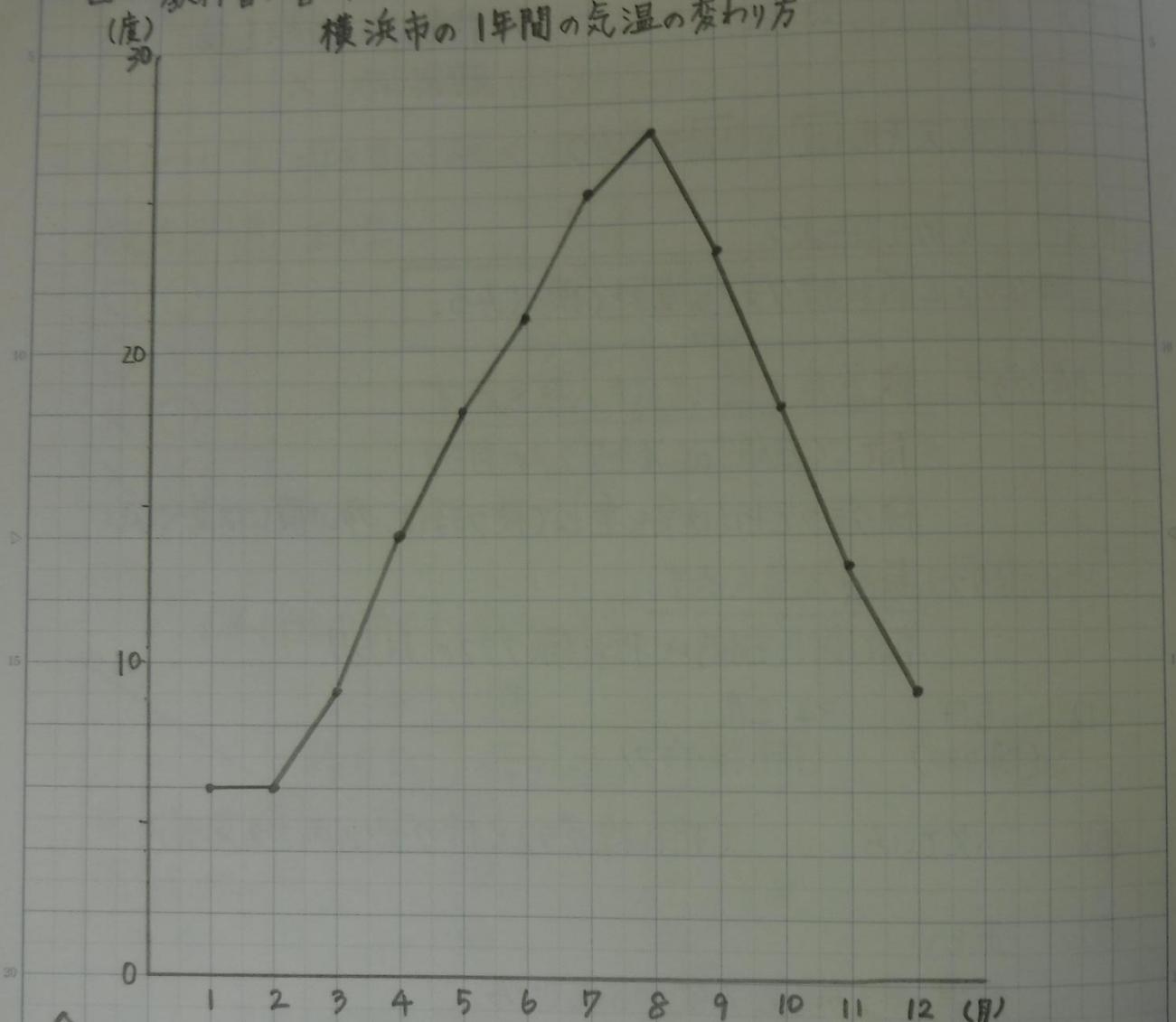
まねんスキル 13 をやろう。

- △ ① たて 気温 横 月
- ② 8月と9月の間

- * ①の()を見よう
- * 下がる→右に下がる部分

△ 教科書に書こう。

横浜市の1年間の気温の変わり方



△

場所	町	東町	西町	南町	北町	合計
交差点や せせい道学路		4	3	⑧ 4	5	16
暗がりや 板好暗い道		3	2	1	1	⑨ 7
人気の少ない 場所や空き家		0	⑦ 2	1	0	⑩ 3
合計		⑪ 7	7	⑫ 6	⑬ 6	⑭ 26

- ⑮ $16 - 4 - 3 - 5 = 4$
- ⑯ $3 + 2 + 1 + 1 = 7$
- ⑰ $4 + 3 + 0 = 7$
- ⑱ $7 - 3 - 2 = 2$
- ⑲ $⑧ + 1 + 1 = 6$
- ⑳ $5 + 1 + 0 = 6$
- ㉑ $16 + ⑨ + ⑩ = ⑰ + 7 + ⑲ + ⑳$
 $= 26$

P. 34 データの特長に注目して目的にあったグラフを選ぶ。

棒グラフ いくつかのこもくの数の大小を比べる。

こもくは、多い順に左側から並べることが多い。

折れ線グラフ 連続している変化の様子を表す。

線のかたむきで変化の大きさを表す。

P. 35 おぼえているかな

① ① $0.5 > \frac{4}{10}$ ($\frac{5}{10}$) ② $0.9 < 1$ ③ $0.2 = \frac{2}{10}$ * $0.1 = \frac{1}{10}$

② ① 1dL

② ポット 7dL 水筒 6dL びん 3dL コップ 2dL

③ $6 \div 2 = 3$ 3倍

③ ① 806 3750 0000 0000 ② 320 0000 0000

③ 40000 0000 0000 ④ 70 0000 0000

④ ① $42 \div 6 = 7$ ② $53 \div 8 = 6 \dots 5$

③ $40 \div 7 = 5 \dots 5$ ④ $72 \div 9 = 8$

⑤ $27 \div 4 = 6 \dots 3$ ⑥ $60 \div 2 = 30$

⑦ $63 \div 3 = 21$ ⑧ $55 \div 5 = 11$

数のならび方

① 1. 3. 5. 7. 9 11 前の数に②をたす。

② 2. 4. 6. 8. 10 12 2とひく

③ 3. 6. 9. 12. 15 18 3のだんの答え

④ 1. 2. 4. 7. 11 16 じぶんば 前から順番に 前の数に +1. +2. +3... とふえていく。